筑波大学
University of Tsukuba

令和　8 年 10 月 29 日
国立大学法人筑波大学

～早く知れば未来が変わる、糖尿病～

筑波大学附属病院「2026 年度世界糖尿病デー」イベントのお知らせ

11 月 14 日の「世界糖尿病デー」に合わせて、筑波大学附属病院でも糖尿病に関する正しい知識を持ってもらい、予防や治療継続の重要性について知ってもらおうというイベントを企画しました。イベントでは、**糖尿病の指標である HbA1c や血糖値の測定、脂肪や筋肉量がわかる体組成測定のほか、糖尿病の専門医や看護師、薬剤師に無料で相談**することもできます。また、運動機能が低下し要介護状態につながりうるロコモティブシンドロームをチェックするコーナー、栄養士によるレシピ配布・栄養相談、歯科衛生士による口腔ケアの紹介、インスリン注射体験、糖尿病の診断から治療、そして合併症に至るまでを幅広く学ぶことができるコンテンツを用意しています。IDF（国際糖尿病連合）によると、世界の成人（20-79 歳）の糖尿病人口は 5 億 3700 万人、**日本でも、糖尿病患者および予備群を合わせると約 2,000 万人になると推定**されています。**糖尿病の重症化予防には早期発見・早期治療が重要**です。このイベントで、ご自分やご家族、大切な人と糖尿病について正しく知ることが、よりよい糖尿病ケアやウェルビーイングのための支援につながります。糖尿病をもつすべての人が健康で充実した生活を送るための一歩として是非今回のイベントに参加してみて下さい。

【日時】2026 年 11 月 11 日（水）9:00-15:00
【場所】筑波大学附属病院　A棟（外来棟）3階
　　〒305-8576　茨城県つくば市天久保 2 丁目 1 番地 1
【内容】＊全て無料です

- HbA1c や血糖値の測定
- 体組成（脂肪や筋肉量）測定
- レシピ配布、栄養相談
- インスリン注射体験
- 医師、看護師、薬剤師などによる無料相談
- 運動コーナー（ロコモチェックなど）
- 口腔ケア（歯科衛生士）

＊世界糖尿病デー（11 月 14 日）は、世界に拡がる糖尿病の脅威に対応するために 1991 年に IDF（国際糖尿病連合）と WHO（世界保健機関）が制定したものです。

https://www.wddj.jp/01_howto.htm　→

過去の様子　→

https://www.tsukuba.ac.jp/news/20251113091820.html

問合せ先
筑波大学附属病院
内分泌代謝・糖尿病内科

筑波大学附属病院

世界糖尿病デー

～早く知れば未来が変わる、糖尿病～

HbA1c測定



＊数に限りあり

体組成測定



体脂肪・筋力量測定

栄養相談



食事アドバイス

運動コーナー



理学療法士による
アドバイス

相談コーナー



医師・看護師
薬剤師・歯科衛生士

日時：１１月１１日（水）
９：００～１５：００
場所：筑波大学附属病院
A棟（外来棟）３階

★事前申込不要★参加無料

お問い合わせ　筑波大学附属病院２０２６年糖尿病デー実行委員会
〒３０５－８５７６　茨城県つくば市天久保２－１－１
☎０２９－８５３－７６６８（ガイダンス７番）平日９時～１７時